

講義名	経営管理特殊演習(D3)(前期)			授業形態	
担当教員	潘 志仁	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4 時限		
		単位数	0	履修開始年次	1 年生

主題と概要

経営管理研究分野における博士論文の理論構築を完成させることが、本演習の目的となります。院生が取り組む博士論文の課題に関する文献レビューを通じて、自分の論文が既存研究の中でのどの位置づけられるかを明らかにし、独自の分セク特組みの完成を目指す。

到達目標

- (1)博士論文の作成を視野に入れて、問題意識から研究テーマの選定、文献レビュー、調査計画の策定、仮説のたて方、論拠のたて方、結論の導き方を身につけるようになる。
- (2)博士論文作成の基盤づくりを通して、その進捗をもとに論文構成、論理展開など論文としての精緻化を目指すようになる。

提出課題

毎週、提出物が求められる。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎週、一人が発表し、それをその他のメンバーがコメントしたうえで、指導教員が講評・解説を行います。

評価の基準

発表と議論へのコミットメントにより、受講生の成績を評価します。

履修にあたっての注意・助言他

大人の態度（礼儀正しい言葉、態度、行動（約束を守る、遅刻しない、あいさつする）
 単自の連絡（相談、履修届など、単自にいうてほしい）
 相互に学びあう、助け合う（ゼミ仲間間で）
 毎週の研究報告のレジュメをよく読み、コメントする
 ぶたんがらよく議論する
 いろいろのことを話しあう、相談する
 指導教授とのコミュニケーション
 逃げない、自信不運は損する
 マナブス情報は豊かにしてほしい
 しかられ上手になってほしい
 たよりにする、しかし、なよりっぱなしにしない
 単自単目のクセ（スケジュールより）

教科書

--	--	--	--	--

参考図書

--	--	--	--	--

その他
適宜指示

授業計画

1. 解題
2. 研究報告・討論（1）
3. 研究報告・討論（2）
4. 研究報告・討論（3）
5. 研究報告・討論（4）
6. 研究報告・討論（5）
7. 研究報告・討論（1）
8. 中間評価
9. 研究報告・討論（1）
10. 研究報告・討論（2）
11. 研究報告・討論（3）
12. 研究報告・討論（4）
13. 研究報告・討論（5）
14. 研究報告・討論（6）
15. 期末評価

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎週の研究報告のレジュメをよく読み、コメントするには、毎日1時間が必要とされる。そして、指導教員のコメントに従ってレジュメを修正し、文章に表現するにも、毎日3時間以上が必要とされる。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

博士論文作成の準備と作成過程の具体化を行う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オール・ラーニングを重視します。

実務経験の有無及び活用

--

備考

--